

## 第2期岡崎市スポーツ推進計画（案）に対する意見と市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p>美矢井橋河川緑地運動場、渡橋河川緑地運動場は、降雨により土が流されることで凹凸が激しく、「安全、快適」とは言い難い状態である。利用者のレーキによる整備だけでは不十分で、定期的な土の補充と機械による整地が必要と思われる。</p> <p>美矢井橋河川緑地運動場は、駐車場のスペースが不足している。駐車場以外に駐車されるケースも目立ち、やはり「安全、快適」とは言えない。運動場と駐車場が近接しているため、車にボールが当たることを避けるとなると、どうしても駐車できないスペースが生じます。設計上よりも実際の駐車可能な台数は少ない。</p> <p>これらの問題は、長年にわたり放置されてきている。利用者の声が反映されていない、現状の課題が十分に検討されていないことが、問題が放置されてきた原因にあると思われる。利用者に対する満足度のアンケートを実施するなど、利用者の声を反映する仕組みづくりが求められると考える。</p>	<p>本計画はスポーツ基本法に基づき、スポーツ推進の理念や方向性、取り組みについて総合的、体系的にとりまとめた計画であり、個別施設の整備・改修について記載することはありませんが、基本目標1、基本施策(2)、個別施策④施設の利用利便性の向上では、計画性を持った施設整備、また老朽化した施設の改修計画を「岡崎市スポーツ施設配置整備方針」に沿って立案することとしています。この「岡崎市スポーツ施設配置整備方針」は来年度に見直しを予定しており、その見直しの中で、市民の意識調査も行いながら、スポーツ施設の老朽化や管理・運営に関する課題を整理し、既存のスポーツ施設の改善等も含めて、方針を設定する予定です。ただし、無料で利用できる施設など、その施設にあった管理・設備となることも御理解ください。</p> <p>サッカーも含めた各競技施設の過不足や、中央総合公園や龍北総合運動場のような有料施設と河川敷グラウンドのような無料施設それぞれの在り方についても、この方針の中で検討してまいります。</p>
2	<p>岡崎市社会人リーグにてサッカーを楽しんでいるが、岡崎市のサッカーグラウンドは安城市や刈谷市の社会人リーグと比べると、割り当てられるサッカーグラウンドの質が悪すぎる。特に河川敷のグラウンドは整備されておらず、凸凹していて、とてもプレーできる状態ではない。河川敷のグラウンドを整備しなおすか、また、龍北グラウンド、中総グラウンドのリーグへの割り当て回数を増やすなどの対策を実施してほしい。「施設の利用利便性の向上」の1つとして、「サッカー競技グラウンドの整備」を加えてほしい。</p>	

3	<p>ビジネスパーソンへの対応として、勤務後の時間帯でもサッカーなどで利用できる施設を準備することをお願いしたい。基本施策2にある「様々な時間帯での」について、「ナイター施設の拡充による夜間の時間帯など」を加えることを望む。岡崎市内には、ナイター設備が利用可能なサッカーができるグラウンドは中央総合公園・運動広場に限られており、ここは利用ニーズが高く、空き時間が極めて少ない状況にある。そのため、六名公園運動場と龍北総合運動場サッカー・ラグビー場にナイター設備の設置が必要と考える。六名公園運動場については、東側にしかナイター設備がない。西側にも設置することで、夜間のサッカー利用が可能になる。龍北総合運動場のサッカー・ラグビー場については、予約状況を見ると、土日は優先団体の予約でほぼ埋まっており、ニーズが高いことは明らかである。また、ナイター設備がない人工芝グラウンドは他の自治体では見たことがなく、早急な設置を希望する。このようなナイター設備の設置により、社会人のスポーツ普及率向上並びに、様々な時間帯でのスポーツ機会の提供が実現すると考えるため、上述の加筆を強く要望する。市内のサッカー環境は質的には改善されてきたが、量的には改善されていない。週末のグラウンドも予約が詰まっている状況が続いている。ナイター施設が充実すれば、社会人でもサッカーを楽しむチャンスが増え、シニア世代にも涼しい日没後であれば夏場でもサッカーができる環境になると考える。これからの時代は、多様なスポーツにチャレンジするシニアが増えてくると推測され、その意味でも、ナイター施設の設置は時代にあった施策と考える。</p>	<p>本計画はスポーツ基本法に基づき、スポーツ推進の理念や方向性、取り組みについて総合的、体系的にとりまとめた計画であり、個別施設の整備・改修について記載することはありませんが、基本目標1、基本施策(2)、個別施策④施設の利用利便性の向上では、計画性を持った施設整備、また老朽化した施設の改修計画を「岡崎市スポーツ施設配置整備方針」に沿って立案することとしています。この「岡崎市スポーツ施設配置整備方針」は来年度に見直しを予定しており、その見直しの中で、市民の意識調査も行いながら、スポーツ施設の老朽化や管理・運営に関する課題を整理し、既存のスポーツ施設の改善等も含めて、方針を設定する予定です。</p> <p>ナイター設備も含めた各競技施設の過不足や在り方についても、この方針の中で検討してまいります。中央総合公園や、龍北総合運動場については、指定管理者制度による民間ノウハウを活用した柔軟な施設管理運営を行うとしており、早朝や、夜間運営についても、ニーズが高まれば費用対効果を勘案し、指定管理者と共に導入を検討してまいります。</p>
4	<p>「多様な時間帯におけるスポーツの機会づくり」に関して、龍北総合運動場等にナイターを設置することで、空き時間が極めて少ない状況を解決して欲しい。そのため、「様々な時間帯での」といった曖昧な表現ではなく、「早朝やナイター設備設置による夜間の」スポーツ機会の提供への変更も検討して欲しい。現状では日中の時間帯は利用可能な施設が多く、多様な時間帯とは早朝と夜間を指すものと推察される。サッカーに関してはシニア世代のプレーヤーも増えており、とくに夏期も比較的涼しい時間帯に利用できる運動場は、これからニーズが高まるはず。</p>	

<p>5</p>	<p>市民が施設を利用しやすい環境を整えるため、「利用実績に応じて柔軟に施設運用を見直す」といった一文の加筆を望む。岡崎市内にはサッカーができる運動場が少なく、週末はほとんど空きがない状況が長年続いている。過去 20 年間、県営のサッカー・ラグビー場が市営に変わっただけで運動場は増えておらず、予約が取りにくい状況は変わっていない。このような状況は、以下のような柔軟な施設運用の見直しで一部解消できると考えている。</p> <p>1 . 中央総合公園多目的広場は、東西 2 面、南北方向にピッチが取れるように整備し、早朝、午前、午後の 3 つの時間帯ではなく、早朝、9-12、12-15、15-18 時の 4 つの時間帯に変更する。現在の 3 つの予約枠を最大で 8 枠に増やすことが可能。管理者の視点からすれば枠を少なくすれば稼働率を高く維持できるメリットがあるが、そのメリットを優先して市民のニーズが満たせないのであれば、本末転倒である。</p> <p>2 . 龍北総合運動場サッカー・ラグビー場と六名公園運動場にナイター設備を設置。特に前者については、ナイター設備がない人工芝グラウンドは宝の持ち腐れであると感じる。ナイターでサッカーができる中央総合公園運動広場は、夜の時間帯も予約が取りにくい状況であり、ナイターの人工芝グラウンドは市民のニーズが高いと推察される。</p> <p>3 . 龍北総合運動場競技場を一般に開放。現在は岡崎市、愛知県主催の大会のみ利用が許可されているようだが、私が把握している近隣自治体（刈谷、安城、蒲郡）の競技場では、そのような制限はない。</p> <p>4 . げんき館のフットサルコートは、公共施設としては極めて高額（30 分 3,000 円）な利用料の値下げ。サッカーとフットサルでは、利用者の競合があると推察される。現状では、フットサルの利用時間帯での稼働率が極めて低いので、値下げすれば有効活用の促進、利用者の競合解消につながると期待される。なお、値下げによる民間フットサルコートへの影響は、一定の配慮が必要である。</p>	<p>1、2、3のご意見について</p> <p>本計画はスポーツ基本法に基づき、スポーツ推進の理念や方向性、取り組みについて総合的、体系的にとりまとめた計画であり、個別施設の整備・改修について記載することはありませんが、柔軟な施設運用については、「基本目標 1、基本施策(2)、個別施策 施設の利用利便性の向上」に記載のあるとおり、指定管理者制度による民間ノウハウを活用した柔軟な施設管理運営を検討していくこととしています。来年度「岡崎市スポーツ施設配置整備方針」の見直しを予定しており、その中で市民意識調査も行いながら、スポーツ施設の老朽化や管理・運営に関する課題を整理し、既存のスポーツ施設の改善等も含めて、方針を設定する予定です。ナイター設備も含めた各競技施設の過不足や在り方についても、この方針の中で検討してまいります。</p> <p>4のご意見について</p> <p>げんき館の利用料金については、ご指摘のとおり、値下げをすれば利用者の増加につながると考えられますが、げんき館のフットサルコートは、指定管理者の提案で実施している事業であり、指定管理者が近隣の同様な施設を勘案しつつ、利用料金を定めています。また、利用料金は指定管理者の収入となっており、この事業を健全に運営していくうえで必要な料金設定となっておりますので、ご理解いただければと思います。</p>
----------	---	---

6	<p>「施設の利用利便性の向上」について、施設の予約・利用状況のIT化だけでなく、「一元化」の加筆を希望する。サッカーやフットサルができる運動場やコートに関して、多くの場所は「あいち共同利用型予約システム」で予約できるが、げんき館(フットサルコート)と中央総合公園(運動広場や多目的広場)はそれぞれ独自のシステムを採用しており、一元化されておらず不便を感じる。</p>	<p>げんき館や岡崎中央総合公園については、指定管理者制度による民間ノウハウを活用した柔軟な施設管理運営を行っており、予約方法の一元化は、現時点では施設管理運営に支障をきたす可能性があります。今後、指定管理業務の更新時に「あいち共同利用型予約システム」に一元化できるか検討してまいります。</p>
7	<p>優秀なアスリートの養成には、支援も必要だが、現役を過ぎてもスポーツを続けられる土壌づくりが大切と考える。いかに生涯にわたり続けることができるか。個々が好きなスポーツ、文化活動を続ける、イベント化するのではなく、楽しんで続けられるスポーツ・文化活動が必要と思う。スポーツ・文化活動は、自分の可能性を見つける、チャレンジ精神をつくる手立てとしても大切と考える</p>	<p>本市においても、生涯にわたりスポーツを続けられる環境を整えることは重要な施策であると考えております。本計画でも「基本目標1、基本施策(1)各世代のスポーツ参画人口の拡大」において、子どもから高齢者まで、各世代のスポーツ環境づくりに取り組むこととしており、その中で、現役を離れたアスリートに対する取組も検討することとしています。</p>
8	<p>体づくりの大切さを自覚するためにも、日本の合気道、道の世界にも重点的に取り組んで欲しい。「道」の世界に通ずる政策を岡崎でもいかされたら素晴らしいと考える。「道」の世界は文武に通ずる、「技」も大切だが「心」の修練が大切と考える。</p>	<p>基本目標1のスポーツ参画人口の増加を目指すためには、合気道も含めた、市民の多様なスポーツを推進することが重要であると考えています。また、基本目標3、基本施策(3)に記載してありますように、様々なスポーツを本市の活性化やまちづくりに貢献させていくこととしています。</p>